

第5章 市民向けアンケート調査

1. 調査の概要

- ・ 目的 : 一般市民の火葬場、市営霊園、終活に関する意見・要望などを把握するために実施した。
- ・ 対象者 : 札幌市住民基本台帳より無作為抽出した18歳以上の札幌市民500名。
- ・ 調査期間 : 令和6年1月9日(火) 発送～1月26日(金) 回収締切
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収式調査
- ・ 回収数、率 : 回収数153票、回収率30.6%

■以降の凡例・注記

- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者(その設問に答える必要のない方)、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は100%を超える。
- ◎クロス集計表の数値は表側〔行〕に対する%。各行ごとに最も高い割合のセルは濃い青、2番めは水色、3番めは薄い水色を着色している。

2. 調査結果

分析においては、全体集計のほか、全設問について年齢別、世帯構成別、性別でクロス集計を行った。また、火葬場の運営改善に関する設問（問2（1）～問4）については、喪主経験者・未経験者別でもクロス集計を行った。

これらを踏まえて、全体集計に加えて、統計上あるいは政策検討上有意と考えられる差異が見られたクロス集計結果について記載している。

（1）回答者の属性

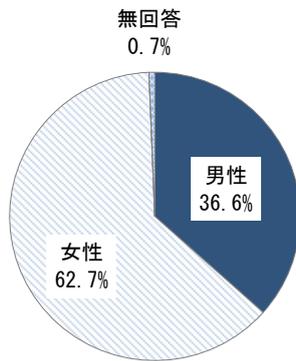
問 15 あなたご自身のことについてお答えください（いずれも○は1つだけつけてください）									
（1）性別									
1. 男性			2. 女性			3. その他			
（2）年齢									
1. 10代		2. 20代		3. 30代		4. 40代		5. 50代	
6. 60代			7. 70代以上						
（3）居住区									
1. 中央区		2. 北区		3. 東区		4. 白石区		5. 厚別区	
6. 豊平区		7. 清田区		8. 南区		9. 西区		10. 手稲区	
（4）世帯構成									
1. 一人暮らし			2. 自身と配偶者			3. 自身と配偶者と子ども			
4. 自身と子ども			5. 自身と親			6. 自身と配偶者と親			
7. 三世帯同居			8. その他（ ）						

回答者の性別は男性が36.6%、女性が62.7%と女性の比率が高くなった。

年齢は60代が最も多く22.9%、50代が20.3%、70代以上が19.6%であった（なお、20台以下は計6.5%、30代は11.8%だったため、合わせて30代以下〔計18.3%〕としてクロス集計に用いている。

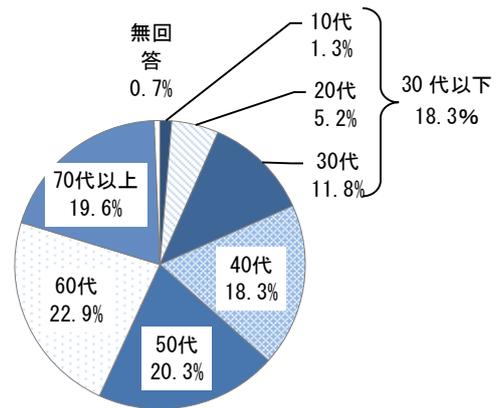
世帯構成は「自身と配偶者」が32.7%、「自身と配偶者と子ども」が26.1%、「一人暮らし」が24.8%で、これらの計で83.7%であった。

1) 性別



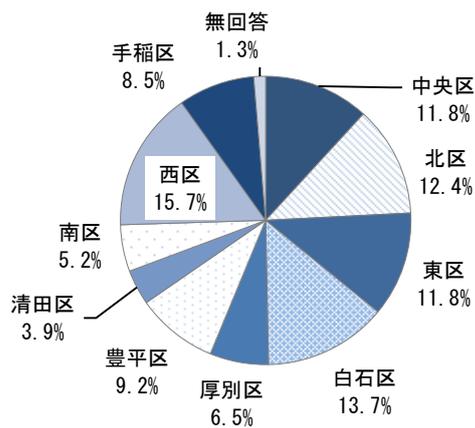
(1つだけ選択、回答者数=153)

2) 年齢



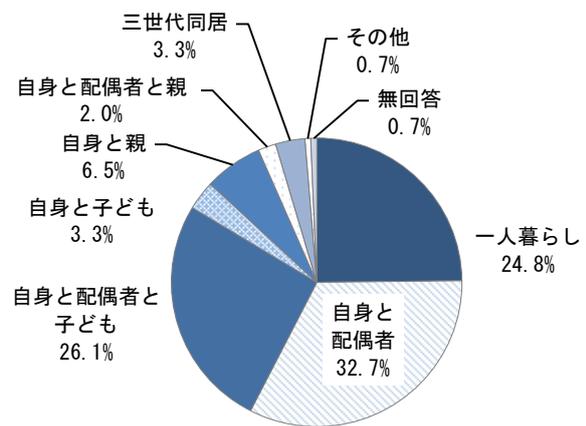
(1つだけ選択、回答者数=153)

3) 居住区



(1つだけ選択、回答者数=153)

4) 世帯構成



(1つだけ選択、回答者数=153)

(2) 火葬場・墓地の問題に対する関心

1) 多死社会の到来による諸問題に対し札幌市で行っている取組への認知度

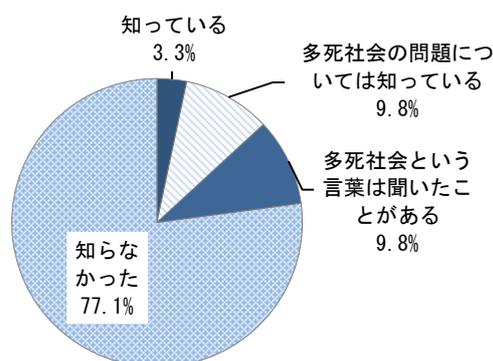
問 1 (1) あなたは多死社会の到来による諸問題に対し、札幌市で行っている取組についてご存じですか。(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 知っている | } ⇒ 問 1 (2) へ |
| 2. 多死社会の問題については知っている | |
| 3. 多死社会という言葉は聞いたことがある | |
| 4. 知らなかった ⇒ 問 2 へ | |

全体集計では、77.1%が「知らなかった」と回答した。

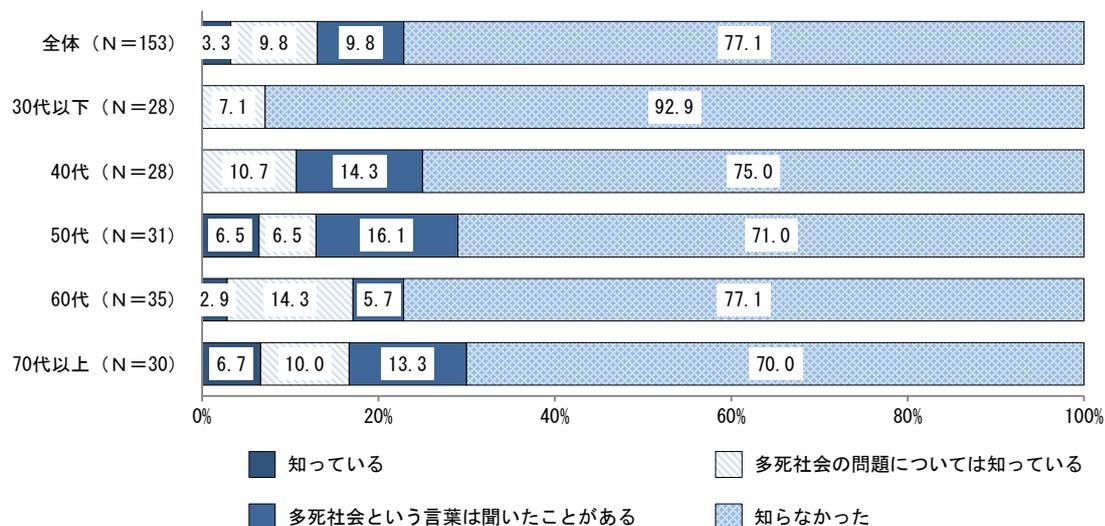
年齢別では、特に 30 台以下で「知らなかった」との回答率が 9 割を超えている (92.9%)。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=153、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

2) 多死社会という言葉や札幌市の取組を知ったきっかけ

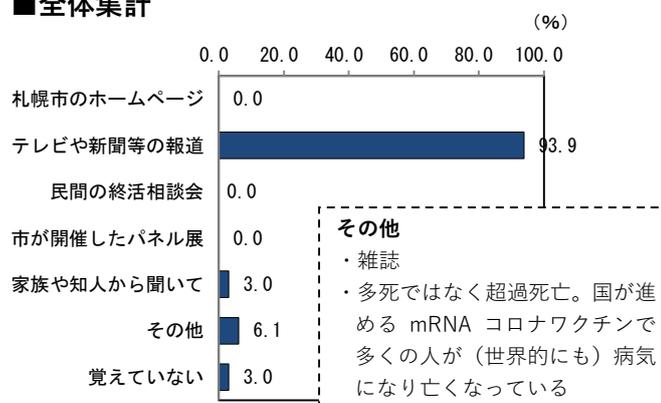
≪問1(1)で「4.知らなかった」と答えた方以外の方にお聞きます。≫

問1(2) あなたは多死社会という言葉や札幌市の取組などを、どこでお知りになりましたか。
(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 札幌市のホームページ | 2. テレビや新聞等の報道 |
| 3. 民間の終活相談会 | 4. 市が開催したパネル展 |
| 5. 家族や知人から聞いて | 6. その他 () |
| 7. 覚えていない | |

全体集計では「テレビや新聞等の報道」が93.9%と最も多く突出している。
属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=33、無回答除く)

(3) 火葬場の運営改善

1) 火葬場利用の有無

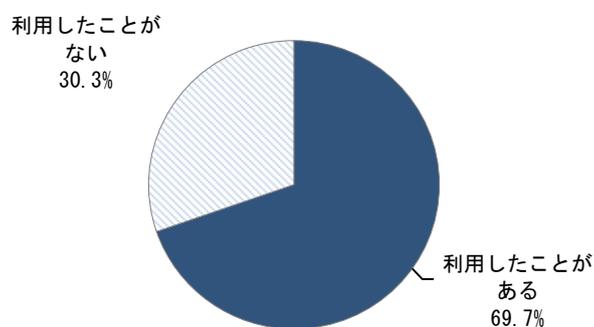
問2 (1) あなたは札幌市の火葬場を利用したことはありますか。(1つだけ○をつけてください)

1. 利用したことがある⇒問2 (2)へ 2. 利用したことがない⇒問3 (1)へ

全体集計では「利用したことがある」は約7割(69.7%)、「利用したことがない」は約3割(30.3%)であった。

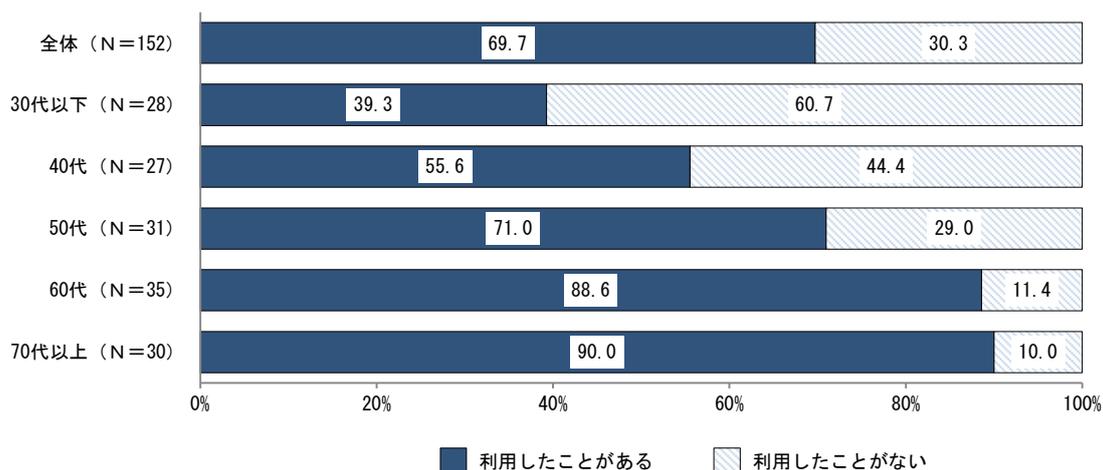
年齢別では、年齢が上がるほど「利用したことがある」の比率が高くなっている。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=152、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

2) 火葬場を利用した際の立場

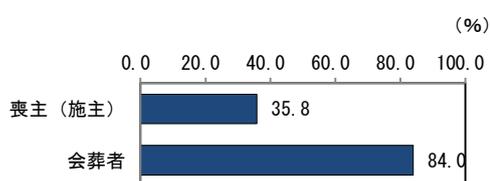
「問2(1)で「1.利用したことがある」と答えた方にお聞きます。」

問2(2) 喪主(施主)として利用しましたか、それとも会葬者として利用しましたか。(いくつかでも○をつけてください)

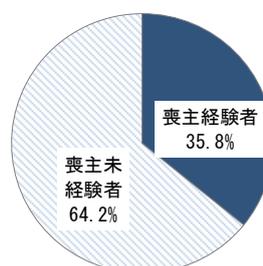
1. 喪主(施主) 2. 会葬者

全体集計では、回答者のうち「喪主(施主)」経験者は35.8%、「会葬者」経験者は84.0%であった。喪主経験者と未経験者に分けると喪主経験者は35.8%、喪主未経験者は64.2%となった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=106、無回答除く)



※喪主経験者・未経験者別

3) 希望する火葬場の利用時間帯

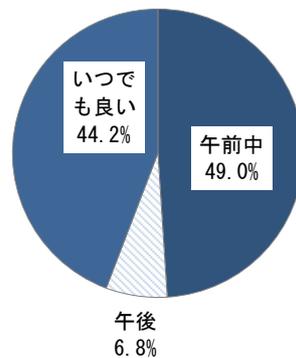
問 3 (1) あなたが、今後、火葬場を利用する際に希望する時間帯をお答えください。(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 午前中 | ⇒問 3 (2) へ |
| 2. 午後 | } ⇒問 3 (3) へ |
| 3. いつでも良い | |

全体集計では「午前中」が49.0%、「いつでも良い」が44.2%、「午後」は6.8%であった。
年齢別では、概ね年齢が高くなるにつれて「午前中」の割合が増加し、「いつでも良い」の割合が減少している。

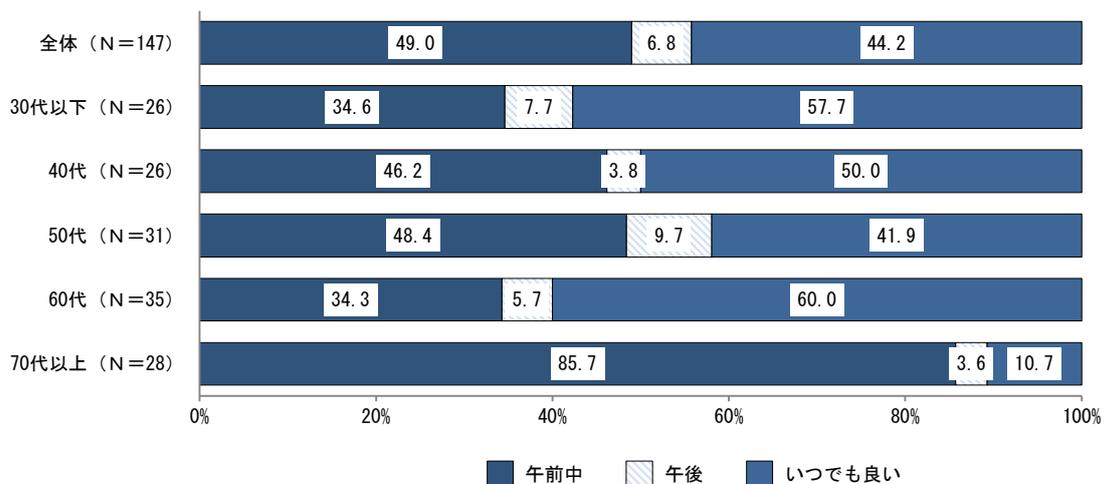
喪主経験者・未経験者別では、喪主経験者は「午前中」との回答が67.6%、「いつでも良い」が29.7%と「午前中」が多かったが、未経験者では「午前中」が44.8%、「いつでも良い」が49.3%とほぼ同数となっている。

■全体集計



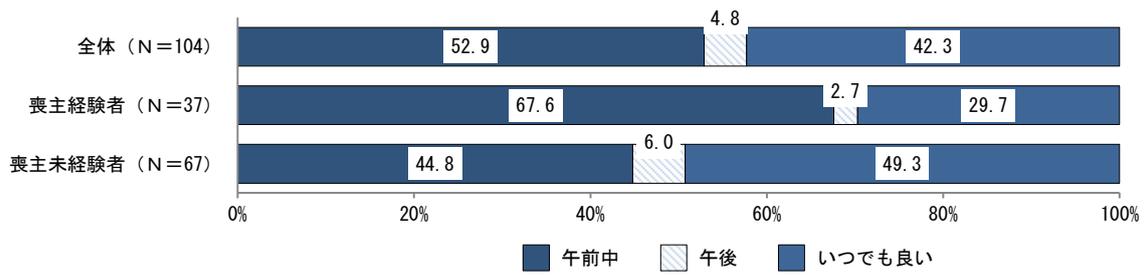
(1つだけ選択、回答者数=147、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

■喪主経験者・未経験者別



(1つだけ選択、無回答除く)

4) 午前中の火葬を希望する理由

≪問3(1)で「1. 午前中」と答えた方にお聞きします。≫

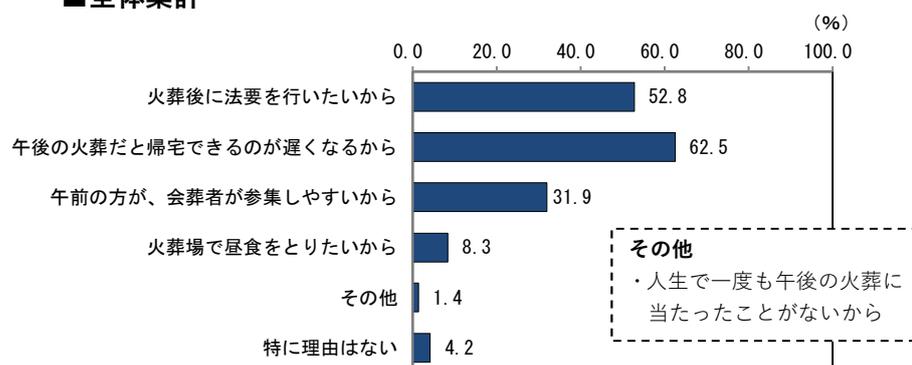
問3(2) あなたが午前中の火葬を希望する理由は何ですか。(いくつでも○をつけてください)

1. 火葬後に法要を行いたいから
2. 午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから
3. 午前の方が、会葬者が参集しやすいから
4. 火葬場で昼食をとりたいから
5. その他 ()
6. 特に理由はない

全体集計では「午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから」が最も多く62.5%、「火葬後に法要を行いたいから」が52.8%で次ぐ結果となった。

属性別、喪主経験者・未経験者別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=72、無回答除く)

5) 友引に火葬を行うことについての感想

「みなさまにお聞きます」

問 3 (3) 他の自治体では友引※の日も火葬場を開場する事例が増えてきています。あなたは友引の日に火葬を行うことについてどのように感じますか。

(1つだけ○をつけてください)

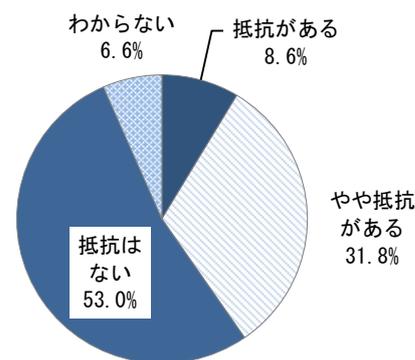
1. 抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. 抵抗はない 4. わからない

※友引とは「大安」や「仏滅」等の六曜のうちの一つ。札幌市を含め一部の自治体では葬儀や火葬を避ける傾向があるが、政令市のうち半数以上は友引にも開場し火葬している。

全体集計では「抵抗はない」との回答が半数を超えた（53.0%）。一方「抵抗がある」「やや抵抗がある」は合計で40.4%であった。

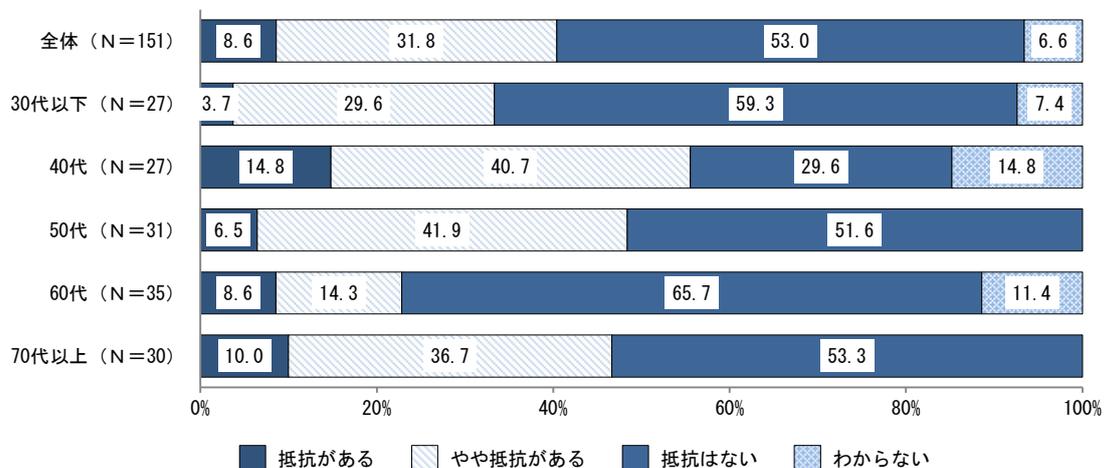
年齢別では、例えば60代では「抵抗がある」「やや抵抗がある」の合計が22.9%だが、より若い40代では55.5%、逆により年齢が上の70代以上でも46.7%と上回るなど、規則性が見られない結果となった。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=151、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

(4) 火葬の費用負担のあり方

1) 火葬料金をどのくらいまでなら負担してよいと思うか

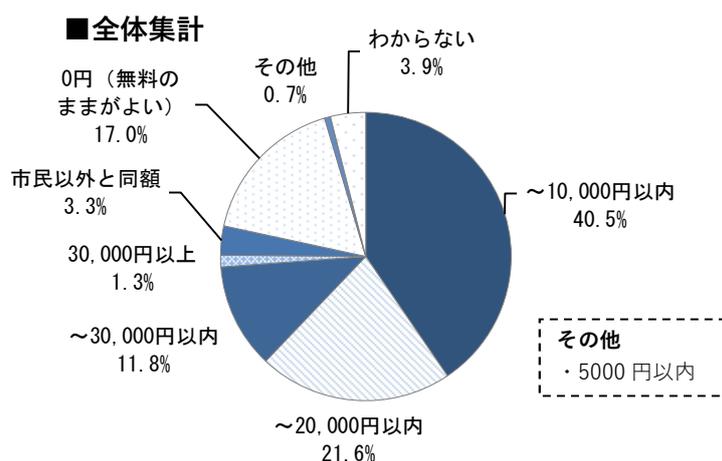
問4 市民の火葬料金について、あなたはどのくらいまでなら負担してもよいと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

※なお、政令指定都市(20市のうち市民を無料としている札幌・新潟・浜松の3市を除く)における市民の火葬料金は5,000円～20,000円(平均約10,800円)になります。

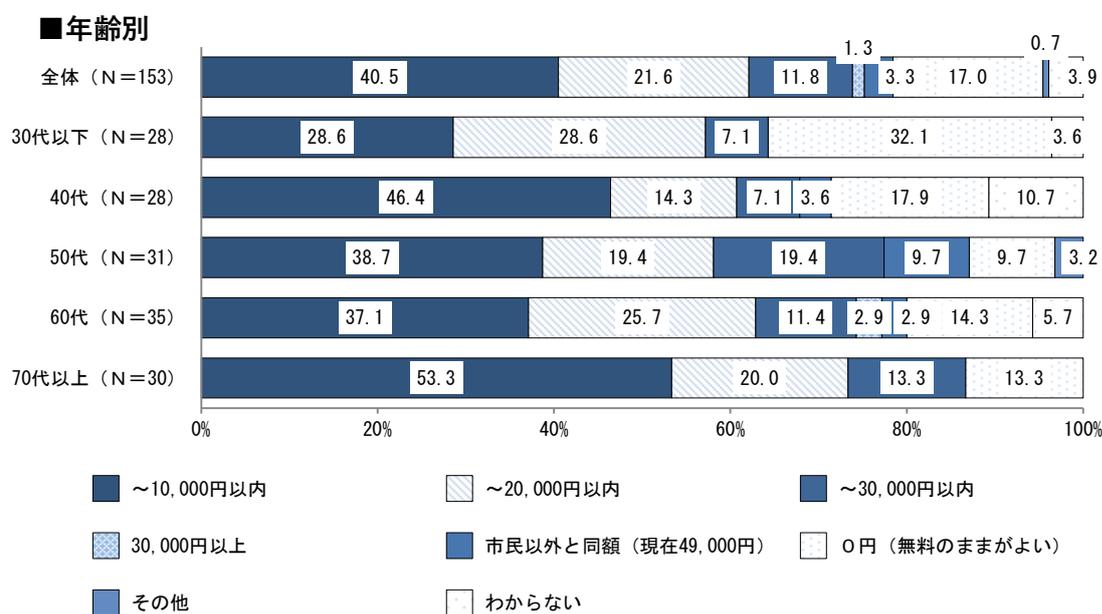
- | | | |
|-----------------|-----------------------|---------------|
| 1. ~10,000円以内 | 2. ~20,000円以内 | 3. ~30,000円以内 |
| 4. 30,000円以上 | 5. 市民以外と同額(現在49,000円) | |
| 6. 0円(無料のままがよい) | 7. その他() | 8. わからない |

全体集計では「~10,000円以内」が最も多く40.5%、「~20,000円以内」が次いで21.6%、「0円(無料のままがよい)」は17.0%であった。

年齢別では、「0円(無料のままがよい)」の回答率を見ると、30代では32.1%が70代以上では13.3%と、概ね年齢が上がるほど割合が低くなっている。



(1つだけ選択、回答者数=153、無回答除く)



2) 火葬場に関する意見・要望

問5 火葬場に関してご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

(回答者数=27 ※複数意見あり)

火葬料金・費用 (17件)

- ・料金は、今後は必要だと思う (40代男性)
- ・火葬費用負担は仕方ないと思います (60代女性)
- ・利用者の負担を高くならず広く求めるべき。また、行政側のサービスもそれほど手厚くなくても良いが高齢者やハンディがある人も困らない程度のサービスがあればなおよい (40代女性)
- ・少人数の家族葬が増えて特別控室は使われなくなるはず。従って火葬料金は半額でも負担してもらいべき。行政ですべて負担することはできない (70代以上男性)
- ・出来るだけ早く火葬できるのが一番だと思うので火葬料金が多少かかっても仕方がないと思います。遅くなるとドライアイス代や他の料金もかかっていくので (50代女性)
- ・私は2020年に母が他界し喪主でした。葬儀は母の住んでいた士別市で行い、火葬しました。料金が当然かかり支払いしましたので札幌市が火葬料無料と知ってびっくりです。近頃は家族葬などと、シンプルに葬儀を行うことが増えてきましたが、それでも香典や見舞金、また本人が掛けている死亡時保険金支払いなど少なからず得られるお金があるので、火葬場の管理運営を賄う意味で料金は発生してもかまわないと思います。(現状10代の子どもを2人育てる身として) 火葬の料金を無料にしているぐらいなら、教育・子育てに財源を充てるべきと強く思います。少子化が進む上で子どもたちが社会で立派に活躍する人となるよう、高校教育無償化などに取り組んでほしいので、火葬料はきちんと集め、収支改善され、その他で子どもたちに財源が回ってほしいです (40代女性)
- ・市民の火葬料金無料の事実を知らず驚きました。個人的には負担があっても良いのではと思います (50代女性)
- ・財政を圧迫するならば料金を無料とする必要はない。適正な料金に設定すべきである (60代男性)
- ・火葬料について運営のためにも無料にするのではなく、安い値段に設定し (いきなり他都市と同額ではなく) 段階的に収益を得た方が良いのではないかと思います (20代女性)
- ・今まで何度か火葬場を利用させていただきましたが、こんなに運営にお金がかかっていることは知らなかったです (20代女性)
- ・火葬は公衆衛生や法令の関係上必ず行う必要があるため行政が無料で行うことが原則であると思う。ただ一方で運営コストの面でやむを得ない場合は支払うか、東京では火葬代が高騰していると聞くので慎重に検討してほしい (20代男性)
- ・国が国民から税金を取っているがその中から出せるように工夫することも大切なのでは? (50代女性)
- ・市民の火葬料金を高くすると経済的に火葬できない家が出てくる可能性がある。もしくは、その時でも火葬しないわけにもいかず、費用負担無で火葬した場合、火葬料金を負担した家とが不

公平に感じるのではと思う (50代男性)

- ・特別控室使用料を安くし、全員特別控室を使用するようにした方がよい (60代女性)
- ・人間死んでしまったら日本の法律上、火葬することが決まりである。自分が死んだとき家族に迷惑かけたくないと思うため無料のままと要望しました (40代男性)
- ・身体の大きな方の火葬は大変と聞きました。そういったイレギュラーな案件に関してはプラス料金発生というシステムがあってもよいと思います (30代女性)
- ・市民以外の火葬料金が低い。市民の火葬も料金をかけてよいと思います。身内が札幌の火葬場を利用することになりそうですが、市外なので料金がとても負担になります。市内、市外一律にしてほしいです (40代女性)

施設に関する要望・意見 (5件)

- ・家族葬が増えているので少人数で使用できる控室があったらいいと思います (60代女性)
- ・トイレなどきれいだった。ロビーで座る場所がもう少しあればよいと思いました (50代女性)
- ・10~20名ほどの会葬者がいる場合、必ず控室を利用しなければならないようにするとよいと思う。実際利用している時、反社(?)の方たち40~50名がロビーを占領して居心地が悪かったため (50代男性)
- ・売店や食堂等があるのはとってもよいと思う (60代男性)
- ・必要以上に豪華にすることはない (60代男性)

火葬場の新設 (2件)

- ・多死ピーク時に向けて一時的に小規模の火葬場を増やすのもよいかもしれません。東京等を参考に民営の火葬場も検討してみてください (50代女性)
- ・人口に対し火葬場の数が少ないのでは。民営の火葬事業参入を検討してはどうか (50代女性)

その他 (5件)

- ・我が家が火葬に行った際は葬儀会社さんに早めに行くことをお勧めされたので午前中にしましたが、予約制で待ち時間が減るなら何時でもいいなと思いました。上記の理由から、予約システムが導入されると嬉しいです (20代女性)
- ・北海道には居住して30年くらいたちますが、私の実家兵庫では火葬場で法要を行う風習は無く、葬儀場に戻って法要をすませます。行ったり来たりで大変ですが、そうすれば混雑を防げるのでは (60代女性)
- ・施主、会葬者が割り箸で集骨することに抵抗がある。中国や韓国のように粉骨されたものを遺族が受け取るというやり方があってもよいと思う。風習に倣い拾骨したいならば別料金で (60代男性)
- ・先日火葬場を利用した際にお骨を拾っていると職員にせかされて嫌な気持ちになりました。混んでいるせいなのでしょうが、もう少し遺族に寄り添った対応をしてもらいたいと思いました (50代女性)
- ・亡くなったらすみやかに火葬できるようにお願いしたい (70代以上男性)

(4) 市営霊園の運営改善

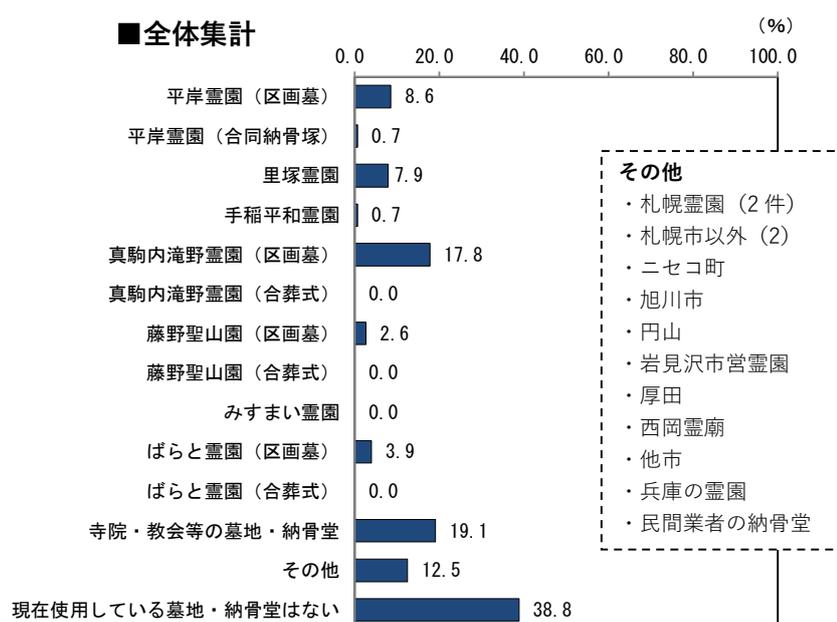
1) 使用している墓地・納骨堂

問6 (1) あなたが現在使用している墓地・納骨堂はありますか。(いくつでも○をつけてください)

1. 平岸霊園 (区画墓)	⇒問7 (1) へ
2. 平岸霊園 (合同納骨塚)	
3. 里塚霊園	
4. 手稲平和霊園	
5. 真駒内滝野霊園 (区画墓)	
6. 真駒内滝野霊園 (合葬式)	
7. 藤野聖山園 (区画墓)	
8. 藤野聖山園 (合葬式)	
9. みすまい霊園	
10. ばらと霊園 (区画墓)	
11. ばらと霊園 (合葬式)	
12. 寺院・教会等の墓地・納骨堂	
13. その他 ()	
14. 現在使用している墓地・納骨堂はない ⇒問6 (2) へ	

全体では「現在使用している墓地・納骨堂はない」との回答が最も多く 38.8%であった。それ以外で最も多い回答は「寺院・教会等の墓地・納骨堂」で 19.1%、「真駒内滝野霊園 (区画墓)」が 17.8%で次ぐ結果となった。

年齢別では、年齢が若いほど「現在使用している墓地・納骨堂はない」の回答率が高くなっており、30代以下では実に 60.7%が「現在使用している墓地・納骨堂はない」と回答した。



(複数選択可、回答者数=152、無回答除く)

■年齢別

	平岸霊園（区画墓）	平岸霊園（合同納骨塚）	里塚霊園	手稲平和霊園	真駒内滝野霊園（区画墓）	真駒内滝野霊園（合葬式）	藤野聖山園（区画墓）	藤野聖山園（合葬式）	みすまい霊園	ばらと霊園（区画墓）	ばらと霊園（合葬式）	寺院・教会等の墓地・納骨堂	その他	現在使用していない墓地・納骨堂はない
全体(N=152)	8.6	0.7	7.9	0.7	17.8	-	2.6	-	-	3.9	-	19.1	12.5	38.8
30代以下(N=28)	3.6	-	3.6	3.6	7.1	-	-	-	-	-	-	25.0	7.1	60.7
40代(N=28)	10.7	-	10.7	-	17.9	-	3.6	-	-	10.7	-	10.7	21.4	28.6
50代(N=31)	12.9	-	6.5	-	12.9	-	3.2	-	-	-	-	16.1	9.7	54.8
60代(N=35)	8.6	2.9	8.6	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	11.4	34.3
70代以上(N=30)	6.7	-	10.0	-	30.0	-	6.7	-	-	10.0	-	23.3	13.3	16.7

（複数選択可、無回答除く）

2) 今後使用したい墓地の形態

「問6(1)で「14. 現在使用している墓地・納骨堂はない」と答えた方にお聞きします。」

問6(2) あなたが今後使用したい墓地等がありますか。(いくつかでも○をつけてください)

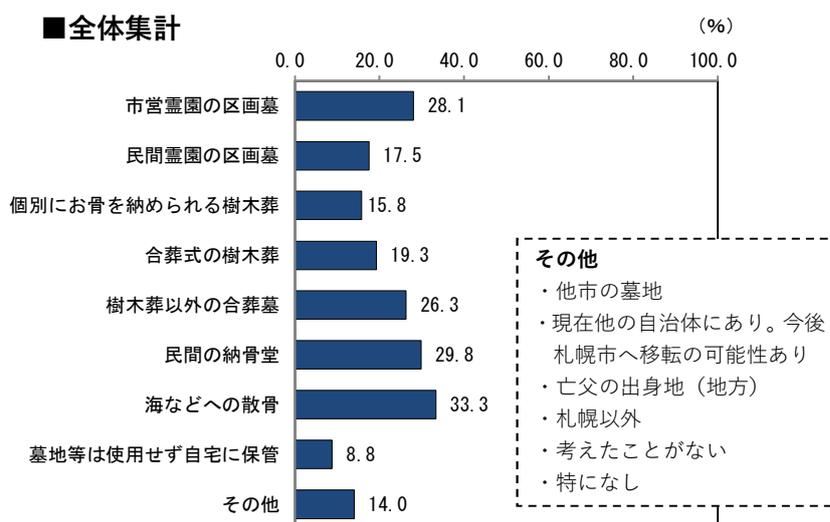
- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 市営霊園の区画墓 | 2. 民間霊園の区画墓 |
| 3. 個別にお骨を納められる樹木葬 | 4. 合葬式の樹木葬 |
| 5. 樹木葬以外の合葬墓 | 6. 民間の納骨堂 |
| 7. 海などへの散骨 | 8. 墓地等は使用せず自宅に保管 |
| 9. その他 () | |

※樹木葬：墓石の代わりに樹木を墓標やシンボルとする墓のこと。

合葬墓：家族以外の方の遺骨も、同一の墓所に埋蔵する墓のこと。

全体集計では「海などへの散骨」が最も多く回答率は33.3%であった。以下、ほぼ同率で「民間の納骨堂」(29.8%)、「市営霊園の区画墓」(28.1%)、「樹木葬以外の合葬墓」(26.3%)と続く。

性別では、特に女性で「海などへの散骨」が最も多く41.9%と4割を超える結果となったことが注目される。



(複数選択可、回答者数=57、無回答除く)

■性別

	市営霊園の区画墓	民間霊園の区画墓	個別にお骨を納められる樹木葬	合葬式の樹木葬	墓樹木葬以外の合葬	民間の納骨堂	海などへの散骨	自墓地等に保管使用せず	その他
全体(N=57)	28.1	17.5	15.8	19.3	26.3	29.8	33.3	8.8	14.0
男性(N=26)	34.6	15.4	7.7	11.5	23.1	23.1	23.1	7.7	15.4
女性(N=31)	22.6	19.4	22.6	25.8	29.0	35.5	41.9	9.7	12.9

(複数選択可、無回答除く)

3) 墓参りの頻度

問 7 (1) あなたの、お墓参り（納骨堂含む）の状況について教えてください。（1つだけ○をつけてください）

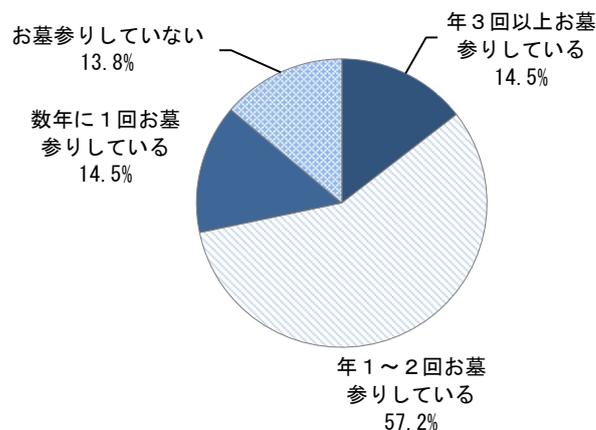
- | | |
|------------------|----------|
| 1. 年3回以上お墓参りしている | } ⇒問8へ |
| 2. 年1～2回お墓参りしている | |
| 3. 数年に1回お墓参りしている | |
| 4. お墓参りしていない | ⇒ 問7(2)へ |

全体集計では「年1～2回お墓参りしている」が最も多く57.2%であった。

年齢別に「年3回以上お墓参りしている」と「年1～2回お墓参りしている」の合計を見ると、30代以下では46.4%だが、70代以上では90.0%となるなど、概ね、年齢が高くなるほど増加する傾向にある。

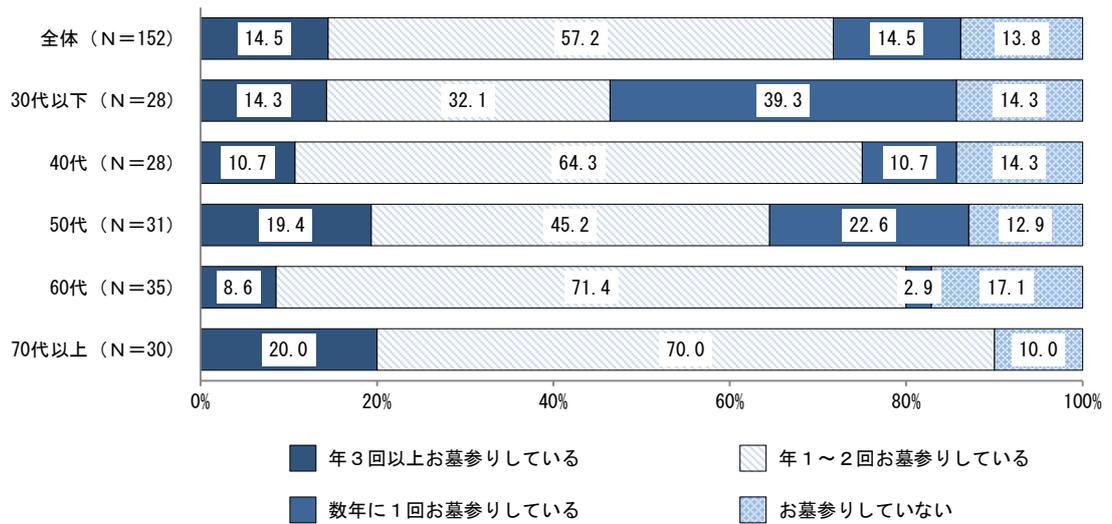
世帯構成別を見ると、単身世帯（一人暮らし）で「年3回以上お墓参りしている」「年1～2回お墓参りしている」との回答率が他の世帯構成よりも低く、「数年に1回お墓参りしている」「お墓参りしていない」の回答率は高くなっている。

■全体集計



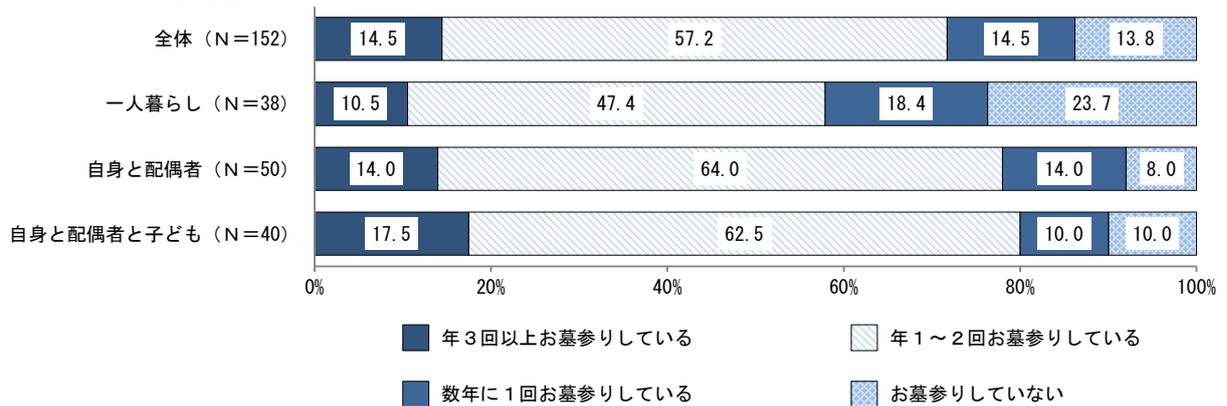
(1つだけ選択、回答者数=152、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

■世帯構成別



(1つだけ選択、無回答除く)

4) 墓参りしていない期間

「問 7 (1) で「4. お墓参りしていない」と答えた方にお聞きます。」

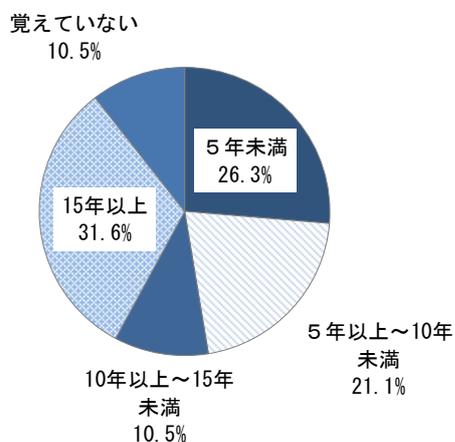
問 7 (2) あなたが、お墓参りしていない期間は何年くらいですか。(1つだけ○をつけてください)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上～10年未満 | |
| 3. 10年以上～15年未満 | 4. 15年以上 | 5. 覚えていない |

回答者は19人であった。これらの回答者のうち「15年以上」との回答が最も多く31.6%であった。

回答者数が少ないため、属性別で有意な差は検出できなかった。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=19、無回答除く)

5) 市営霊園の空き区画の活用方法

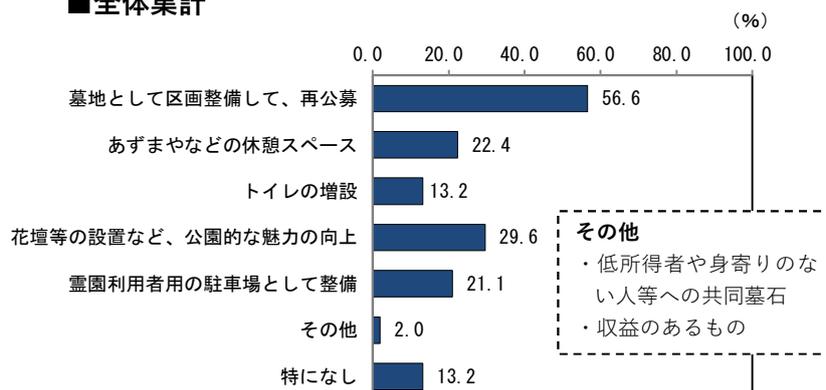
問 8 あなたは、市営霊園の空き区画をどのように活用するのがいいと思いますか。(いくつでも○をつけてください)

1. 墓地として区画整備して、再公募
2. あずまやなどの休憩スペース
3. トイレの増設
4. 花壇等の設置など、公園的な魅力の向上
5. 霊園利用者用の駐車場として整備
6. その他 ()
7. 特になし

全体集計では「墓地として区画整備して、再公募」が最も多く 56.6%であった。以下、約 30ポイントの差をつけて「花壇等の設置など、公園的な魅力の向上」(29.6%)、次いで「あずまやなどの休憩スペース」(22.4%)、「霊園利用者用の駐車場として整備」(21.1%)、と続く。

属性別でも、順位は入れ替わるものの、概ね上記4つが上位に挙げられている。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=152、無回答除く)

■年齢別

	墓地として、再公募	あずまやなどの休憩スペース	トイレの増設	公園的な魅力の向上、花壇等の設置など	霊園利用者用の駐車場として整備	その他	特になし
全体 (N=152)	56.6	22.4	13.2	29.6	21.1	2.0	13.2
30代以下 (N=28)	39.3	35.7	14.3	39.3	28.6	-	7.1
40代 (N=28)	60.7	10.7	3.6	17.9	17.9	3.6	14.3
50代 (N=31)	54.8	22.6	16.1	29.0	25.8	-	19.4
60代 (N=35)	48.6	22.9	8.6	31.4	20.0	5.7	11.4
70代以上 (N=30)	80.0	20.0	23.3	30.0	13.3	-	13.3

(複数選択可、無回答除く)

■世帯構成別

	墓地として、再公募	あずまやなどの休憩スペース	トイレの増設	公園的な魅力の向上、花壇等の設置など	霊園利用者用の駐車場として整備	その他	特になし
全体 (N=152)	56.6	22.4	13.2	29.6	21.1	2.0	13.2
一人暮らし (N=38)	55.3	10.5	10.5	28.9	7.9	-	26.3
自身と配偶者 (N=50)	58.0	26.0	6.0	32.0	26.0	2.0	8.0
自身と配偶者と子ども (N=40)	62.5	17.5	15.0	30.0	20.0	-	12.5

(複数選択可、無回答除く)

■性別

	墓地として、再公募	あずまやなどの休憩スペース	トイレの増設	公園的な魅力の向上、花壇等の設置など	霊園利用者用の駐車場として整備	その他	特になし
全体 (N=152)	56.6	22.4	13.2	29.6	21.1	2.0	13.2
男性 (N=56)	55.4	10.7	5.4	19.6	21.4	3.6	14.3
女性 (N=96)	57.3	29.2	17.7	35.4	20.8	1.0	12.5

(複数選択可、無回答除く)

6) 合同納骨塚の利用条件見直しへの意見

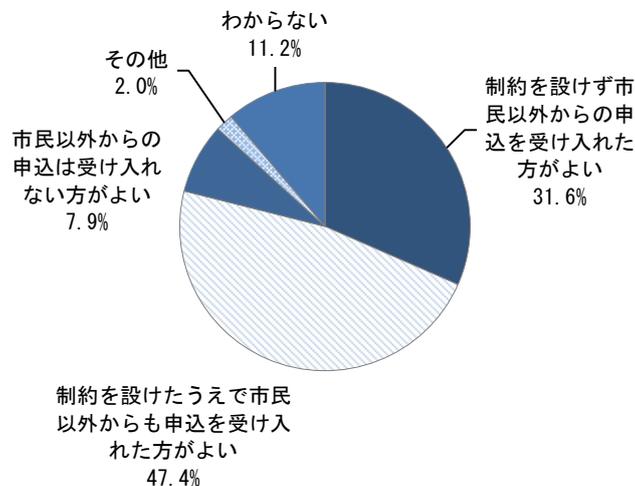
問9 あなたは、合同納骨塚の利用条件見直しについて、どのように考えますか。(1つだけ○をつけてください)

1. 埋蔵する遺骨に制約を設けずに、市民以外からの申込を受け入れた方がよい
2. 生前に市民であった方の遺骨に限定するなどの制約を設けたうえで、市民以外からも申込を受け入れた方がよい
3. これまでどおり、市民以外からの申込は受け入れない方がよい
4. その他 ()
5. わからない

全体集計では「生前に市民であった方の遺骨に限定するなどの制約を設けたうえで、市民以外からも申込を受け入れた方がよい」が最も多くほぼ半数(47.4%)が回答した。「埋蔵する遺骨に制約を設けずに、市民以外からの申込を受け入れた方がよい」が約3割(31.6%)で次ぐ。

年齢別では、特に70代以上で他の年齢よりも「生前に市民であった方の遺骨に限定するなどの制約を設けたうえで、市民以外からも申込を受け入れた方がよい」の割合が高く、「埋蔵する遺骨に制約を設けずに、市民以外からの申込を受け入れた方がよい」が低い結果となっている。

■全体集計

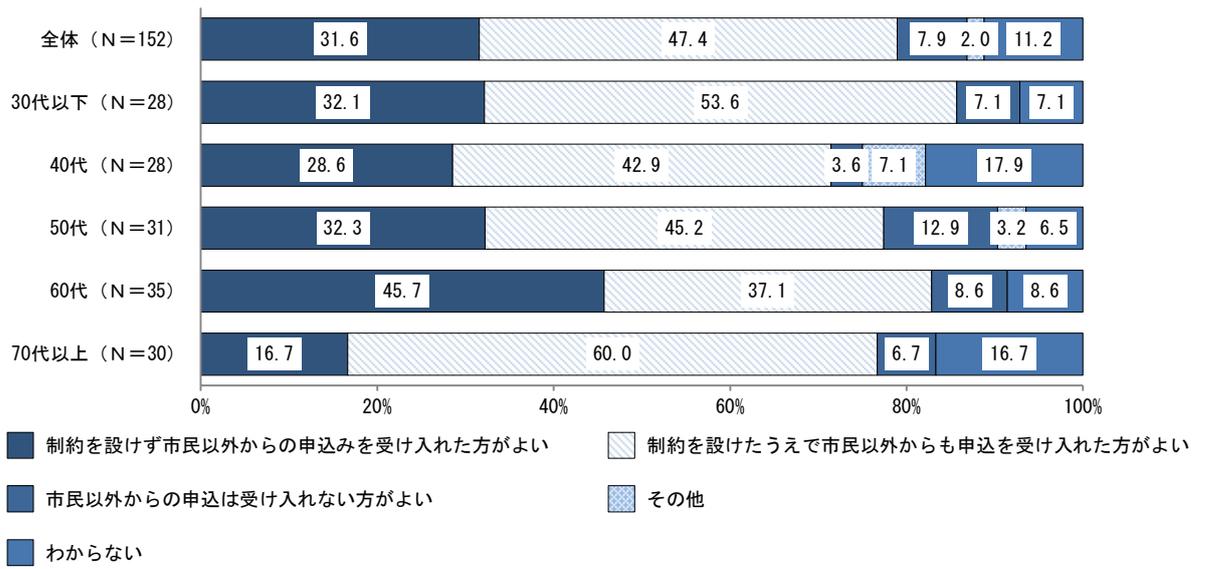


その他

- ・市民以外を受け入れることにより市民に不利益になるのなら受け入れない方がよい
- ・市民以外からも使用料に差を設けることと、プラス数を限定すること。あくまで札幌市民を優先にすることができれば受け入れも可能かと考えます
- ・制約は設けた方がよいが、ある種の条件付きなどで特例もあってもよい

(1つだけ選択、回答者数=152、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

7) 合葬墓利用意向の有無

問 10 (1) 合葬式のお墓の形態が現在多様化しております。あなたは、合葬式のお墓を使いたいと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

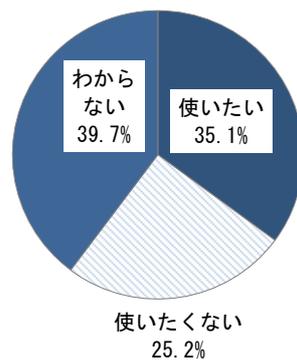
- 1. 使いたい ⇒問 10 (2) へ
- 2. 使いたくない } ⇒問 11 へ
- 3. わからない }

全体集計では、「わからない」との回答が39.7%で最も多かった。以下「使いたい」が35.1%、「使いたくない」が25.2%と「使いたい」が「使いたくない」を約10ポイント上回っている。

年齢別では、30代以下～40代では「使いたくない」との回答が「使いたい」を上回った一方、50～60代では逆に「使いたい」が上回る結果となった。70代以上では「使いたい」「使いたくない」が拮抗する結果となっている。

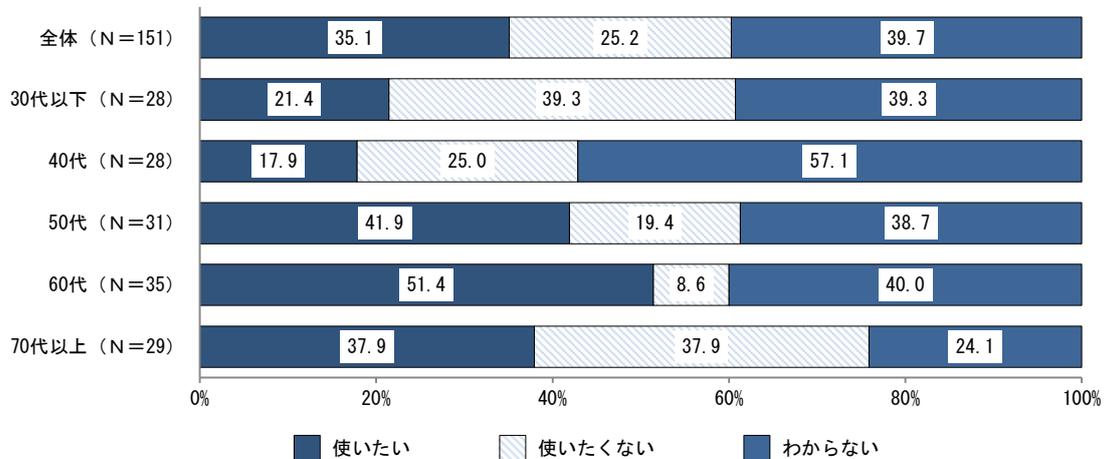
性別では、女性で「使いたい」が「使いたくない」を上回っているが、男性では「使いたくない」が「使いたくない」を上回っている。

■全体集計



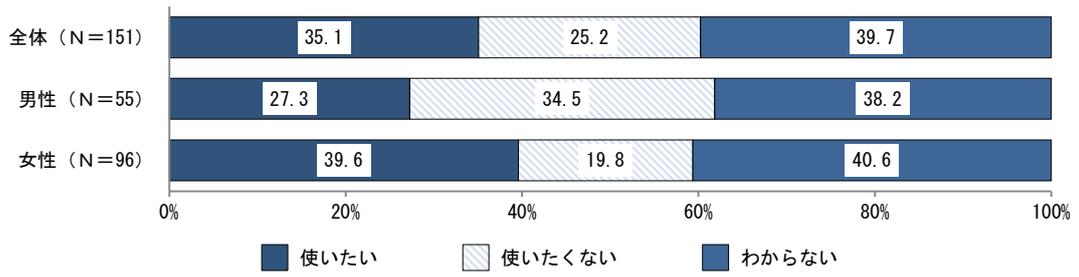
(1つだけ選択、回答者数=151、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

■性別



(1つだけ選択、無回答除く)

8) 利用したい合葬墓の形態

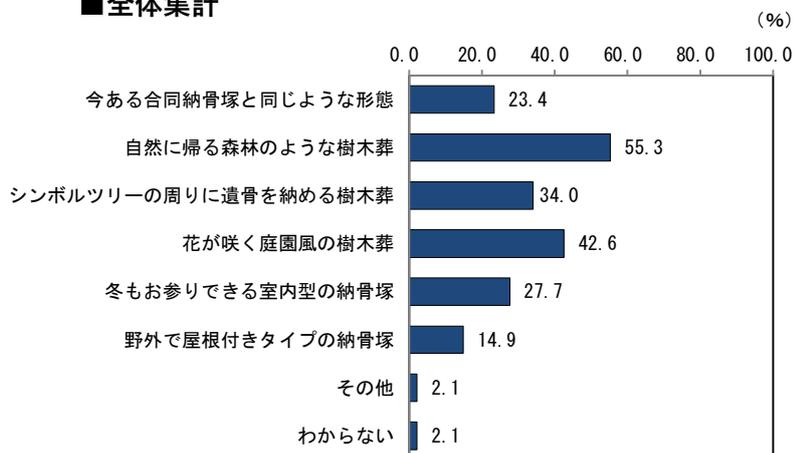
≪問 10 (1) で「1. 使いたい」と答えた方にお聞きします。≫

問 10 (2) あなたが利用したい合葬墓の形態をお答えください。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 今ある合同納骨塚と同じような形態 | 2. 自然に帰る森林のような樹木葬 |
| 3. シンボルツリーの周りに遺骨を納める樹木葬 | 4. 花が咲く庭園風の樹木葬 |
| 5. 冬もお参りできる室内型の納骨塚 | 6. 野外で屋根付きタイプの納骨塚 |
| 7. その他 () | 8. わからない |

全体集計では「自然に帰る森林のような樹木葬」が最も多く半数以上(55.3%)が選択した。以下「花が咲く庭園風の樹木葬」(42.6%)、「シンボルツリーの周りに遺骨を納める樹木葬」(34.0%)と、樹木葬が上位を占めている。
属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



その他

・記念碑の足元に土にかえるように参葬する。手間と費用がかからないタイプ

(複数選択可、回答者数=47、無回答除く)

(5) 市営霊園の維持管理費用・料金制度

1) 維持管理費用に関する意見

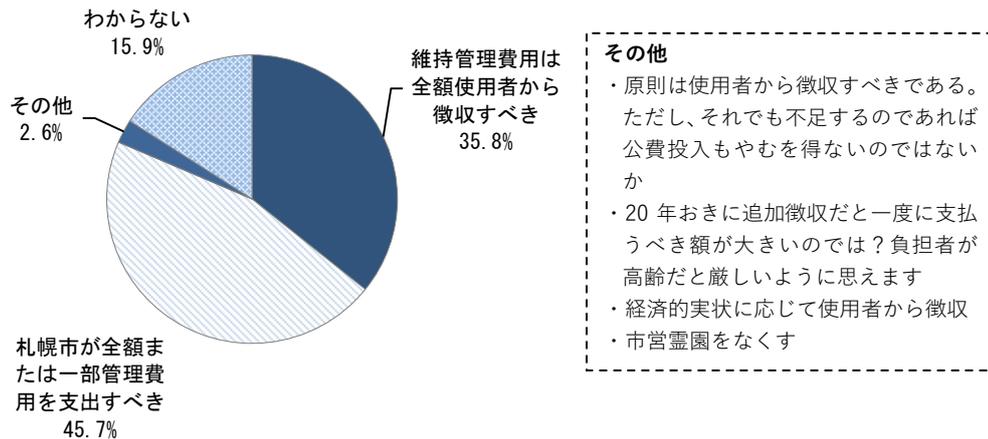
問 11 あなたは、市営霊園の維持管理費用を今後どうしていくべきと思いますか。(1つだけ○をつけてください)

1. 維持管理費用は全額使用者から徴収すべき
2. 札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき
3. その他 ()
4. わからない

全体集計では「札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき」との回答が45.7%、「維持管理費用は全額使用者から徴収すべき」は35.8%であった。

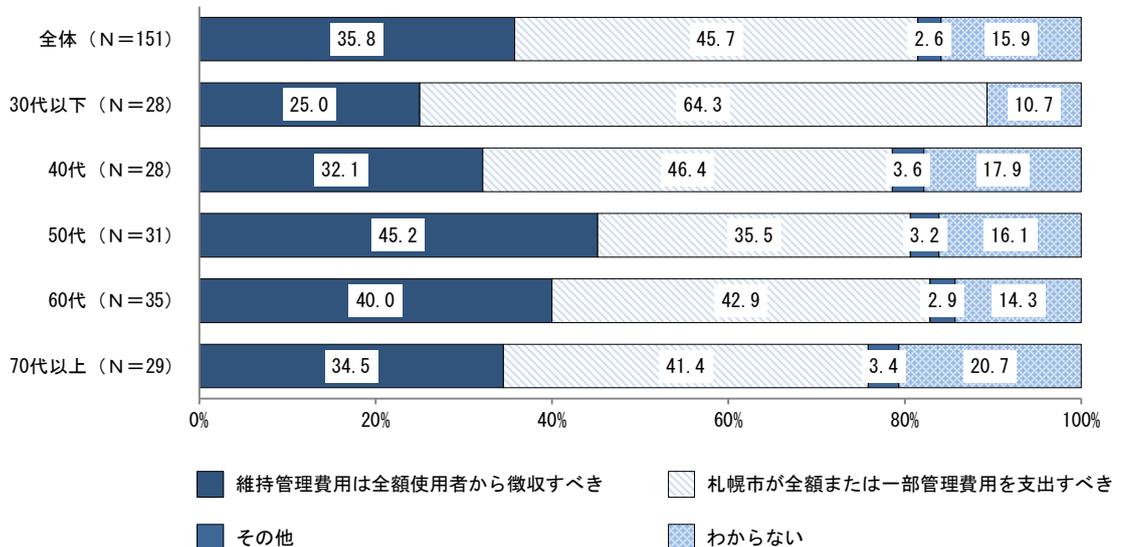
年齢別では、50代のみ「維持管理費用は全額使用者から徴収すべき」が「札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき」を上回っている。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=151、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く)

(6) 墓地使用権のあり方

1) 墓地の有期限更新制について

問 12 (1) あなたは、お墓の使用許可に有期限更新制を設けることについて、どう思いますか。
(1つだけ○をつけてください)

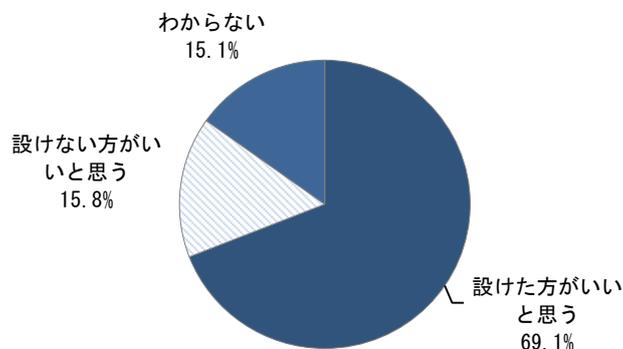
1. 設けた方がいいと思う ⇒問 12 (2) へ
2. 設けない方がいいと思う ⇒問 12 (3) へ
3. わからない ⇒問 13 へ

全体集計では「設けた方がいいと思う」が約 7 割 (69.1%)、「設けない方がいいと思う」が 2 割以下 (15.8%) と、大きな差が見られた。

属性別に見ても、各類型で「設けた方がいいと思う」が「設けない方がいいと思う」を大幅に上回る状況は変わらなかった。

【分析者注：問 6「使用している墓地・納骨堂」により「札幌市霊園使用者／他の霊園使用者／墓地未使用者」別にクロス集計すること（札幌市霊園使用者では「設けない方がいいと思う」の回答率が高い…との仮説検証をすること）も検討しましたが「市民霊園利用者調査」にて精度の高い結果が出ているため、不要と考えました】

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=152、無回答除く)

2) 墓地に有期限更新制を設けた方が良いと思う理由

≪問 12 (1) で「1. 設けた方が良いと思う」と回答した方にお聞きます≫

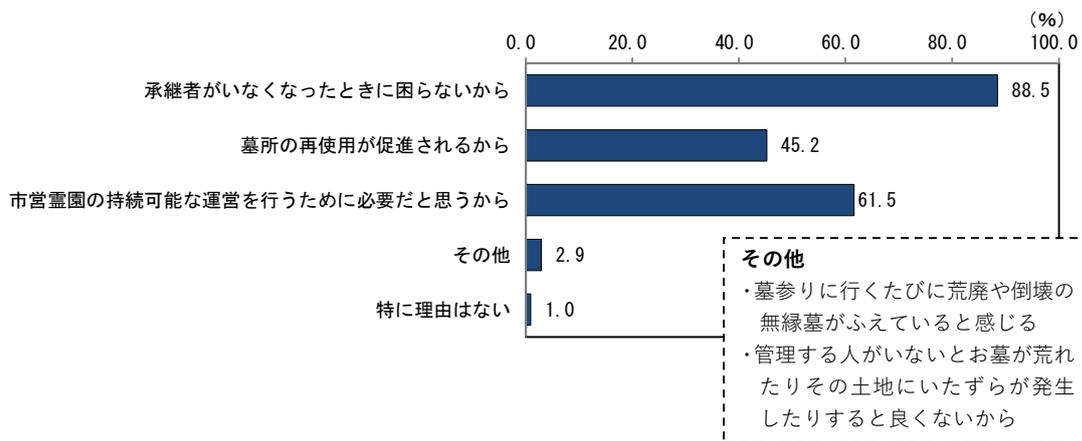
問 12 (2) あなたが、お墓の使用許可に有期限更新制を設けた方が良かった理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

1. 承継者がいなくなったときに困らないから
2. 墓所の再使用が促進されるから
3. 市営霊園の持続可能な運営を行うために必要だと思うから
4. その他 ()
5. 特に理由はない

全体集計では「承継者がいなくなったときに困らないから」が最も多く 88.5%の人が挙げた。以下「市営霊園の持続可能な運営を行うために必要だと思うから」(61.5%)、「墓所の再使用が促進されるから」(45.2%) と続く。

属性別では有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=104、無回答除く)

2) 墓地に有期限更新制を設けない方が良いと思う理由

「問 12 (2) で「2. 設けない方が良いと思う」と回答した方にお聞きします」

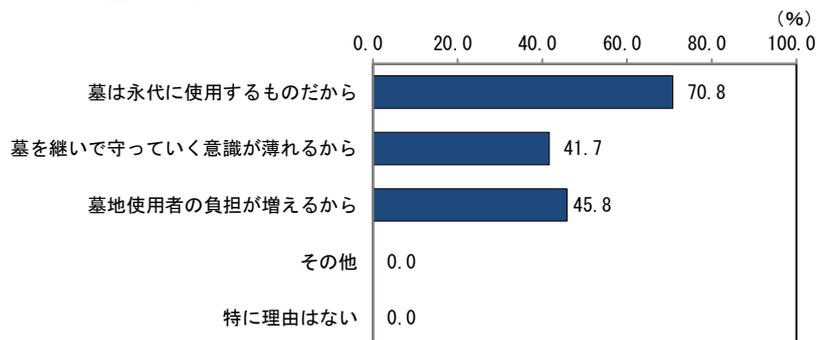
問 12 (3) あなたが、お墓の使用許可に有期限更新制を設けない方が良いと思った理由はなんですか、(いくつでも○をつけてください)

1. 墓は永代に使用するものだから
2. 墓を継いで守っていく意識が薄れるから
3. 墓地使用者の負担が増えるから
4. その他 ()
5. 特に理由はない

全体集計では「墓は永代に使用するものだから」を7割超(70.8%)の人が挙げた。以下「墓地使用者の負担が増えるから」(45.8%)、「墓を継いで守っていく意識が薄れるから」(41.7%)の順となっている。

属性別では有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=24、無回答除く)

3) 市営霊園に関する意見・要望、墓地利用に関する心配ごと

「みなさまにお聞きます。」

問 13 市営霊園に関するご意見・ご要望や、将来の墓地利用についてご心配なことがございましたらご記入ください。

(回答者数=30 ※複数意見あり)

霊園に関する情報・啓発 (6件)

- ・年をとってからではなくもっと若いうちから知識として知っておきたいので、広報誌やインターネット等で情報を発信していただけるとありがたいです (40代女性)
- ・どこに何カ所あるのかもわかっていないので、このアンケートが来たことで少し調べてみたいと思いました (60代女性)
- ・墓仕舞いについての方法や料金など (70代以上女性)
- ・現在札幌市民ですが、出身が他自治体で札幌の墓地霊園のことがよくわかりません。いつか利用するであろう場合が来ることを想定し情報収集できるようにしたい (40代女性)
- ・市営霊園の存在自体も知らなかったですし、墓地についても考えたことがありませんでした (20代女性)
- ・正直関わらない分野なのでわからないことだらけです (30代男性)

今後の墓地のあり方 (6件)

- ・今後は「樹木葬」など自然と一体化した墓地を増やしてほしいです (50代女性)
- ・一家に一基のお墓というのはもう古いのかもしれない。アンケートを通じて自然に買える樹木葬にみんなが切り換えてゆくのが良いのではないかと思いました (50代女性)
- ・時代背景に対応していくべき。若年層は墓地も不要と思う方もいる等があるので (40代男性)
- ・これからの時代、墓を持つ方々は少なくなると思います。自分も墓はいらない (50代男性)
- ・墓地利用を希望しないです。海などへの散墓を希望しています。そちらに「力」をかけてほしいです (50代女性)
- ・近年少子高齢化社会を想定した場合、手間(人手)とコスト(低コスト)がかからない墓地を希望します (60代男性)

合葬墓 (6件)

- ・もともと宗教観や信仰心無く、子どもたちも墓参りの週間が無い。自身も合同塚を考えており、子どもにもそうあってほしいと考えている。合同塚をもっと増やし環境を整えるべき (60代男性)
- ・現在の制度では市営霊園を利用できる望みを持ってない(応募しても当たる気がしない)ので、合葬墓を増やしてほしい (50代女性)
- ・これからますますお一人様が増えるので、問9の合同納骨塚で市民以外の方からの申し込みを受け入れてくれるよう要望します (60代女性)

- ・市営の合同墓で遺骨の管理者が市民以外の場合使用できないのが大変困ります。子どもが関東にいるからです。早く利用できるようお願いします（70代以上男性）
- ・合同墓を希望していますが情報が無くて探しています。広報にのせてほしい（70代以上女性）
- ・墓を管理する方も亡くなる場合もあると聞きます。有効期限を設けて更新が無い場合、自動的に合葬墓へ改葬し次の利用者に貸す方が利益になると思います（50代男性）

維持管理費等、費用（5件）

- ・維持管理費は民間と比べ非常に安価だ。霊園開設当時としては妥当な価格かもしれないが現在まで改定していないのも驚きである。今後に向けては時代の変化に即して改定可能な制度を策定し、霊園の利用者によく納得いただいて運営していただきたい（70代以上男性）
- ・何事も受益者負担を原則とすべき（60代男性）
- ・旧設墓地利用者から管理料は徴収しないのでしょうか？市が管理しているのなら徴収すべきなのではないのでしょうか（50代女性）
- ・子どもたちに心配を掛けず年金生活でも支払えるところがあったら良いなあと思っています（永代で支払いを済ませておきたい）（60代女性）
- ・早くお墓を購入しましたがまだ使用していないのと、後継ぎがいないのでお墓を違う方法に使用かと考え霊園にお返ししたいと伝えましたところ、返却料は戻らないとのことでも納得できていません。自分の財産ではないのでしょうか？ お金を払っているのです！（70代以上女性）

墓の承継（2件）

- ・お墓について考えるようになりましたが、お墓がある安心感と承継者の問題、承継者となる人に負担を掛けたくない気持ち、先祖を弔うとはお墓を大切にすることだけなのか？など、いろいろな考えや迷いが出てきて、自分はどうしたらよいのか、親のお墓は今後どうすべきなのか…悩むばかりで困っています。どうする事が亡くなった方、残された人々にとって最適なのか考えるのはとても難しいです（40代女性）
- ・承継者がいなくなっていくことが案じられます（70代以上女性）

その他（5件）

- ・里塚はごみ箱が無くなり大変不便を感じる。マナーの問題があり設置がなくなると推測するが、きちんとしている方には迷惑なことです。真駒内も同様、水道が出るところと出ないところ、ごみ箱のある所と無い所、不便だ（50代女性）
- ・私は毎年墓参りを8回以上しています。行くたびに胸がわくわくする事ばかりです。景観も変わり毎年楽しみです。滝野霊園です（70代以上女性）
- ・特にないですが、市民として税金を払っているものとしては、こういう市民に関わることに税金を使ってほしいです。札幌ドームの維持に税金を使ってほしくない（60代女性）
- ・墓地使用許可期限更新にあたって使用料が徴収されるのであれば設けない方が良いと思うが、承継者がいるかどうかの確認を取り墓所の再利用になるのであれば更新は良いと思います（60代女性）

- ・自分自身、現在肺がんでいつ死ぬかわからない状態で死後の墓をどうするかが心配です（60代男性）

(7) 終活について

1) 終活の取組状況

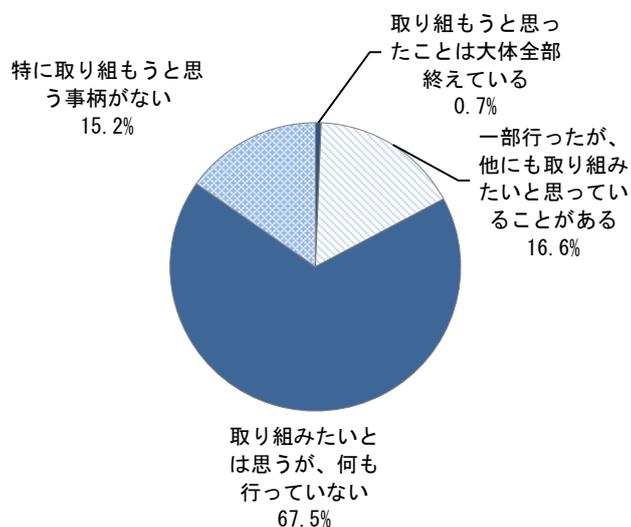
問 14 (1) あなたの終活に関する取組状況について、あてはまるものに○をつけてください。
(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 取り組もうと思ったことは大体全部終えている | ⇒問 14 (3) へ |
| 2. 一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある | ⇒問 14 (3) へ |
| 3. 取り組みたいとは思いますが、何も行っていない | ⇒問 14 (2) へ |
| 4. 特に取り組もうと思う事柄がない | ⇒問 14 (3) へ |

全体集計では、「取り組みたいとは思いますが、何も行っていない」が約7割(67.5%)で大多数を占めた。

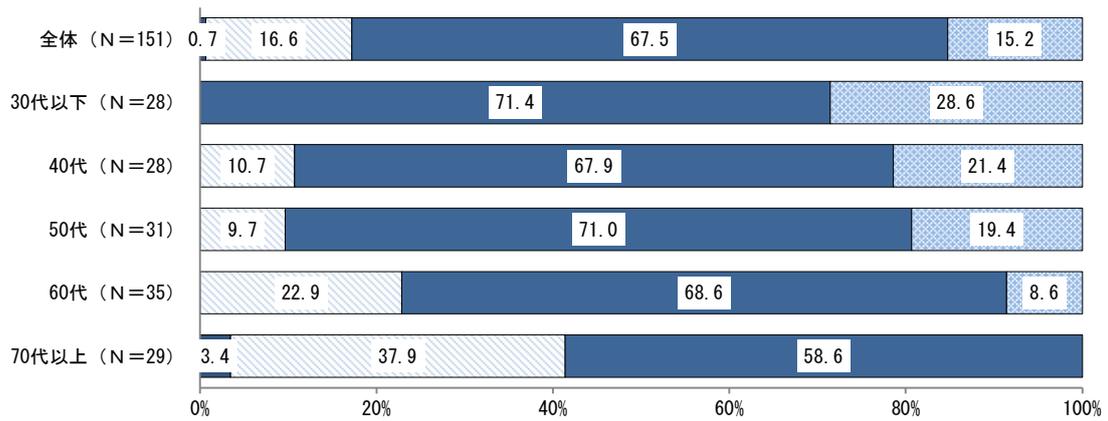
年齢別で見ると「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」の率は年齢が上がるにつれ高くなっている。ただ、何らかの取り組みを行った人(「取り組もうと思ったことは大体全部終えている」「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」回答者)の率は最も多い70代以上でも計41.3%と何も行っていない人(「取り組みたいとは思いますが、何も行っていない」「特に取り組もうと思う事柄がない」回答者)の率を上回る結果となっている。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=151、無回答除く)

■年齢別



■ 取り組もうと思ったことは大体全部終えている

▨ 一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある

■ 取り組みたいと思うが、何も行っていない

▨ 特に取り組もうと思う事柄がない

(1つだけ選択、無回答除く)

2) 終活を行っていない理由

「問 14 (1) で「3. 取り組みたいと思うが、何も行っていない」と答えた方にお聞きます。」

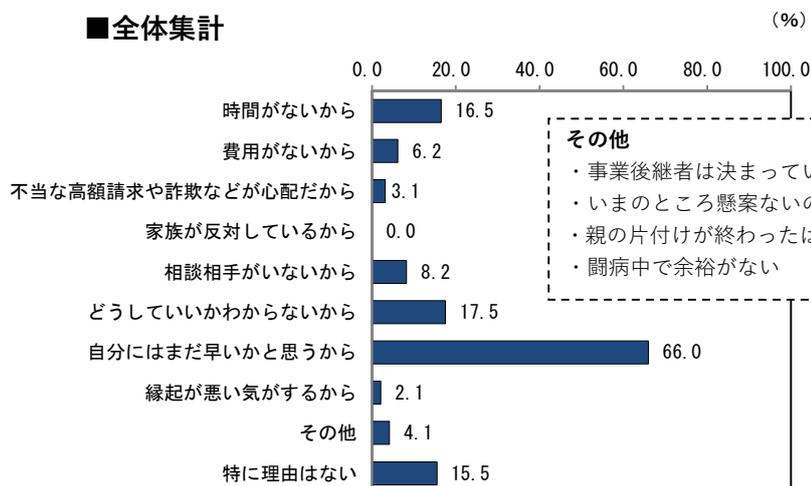
問 14 (2) その理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 時間がないから | 2. 費用がないから |
| 3. 不当な高額請求や詐欺などが心配だから | 4. 家族が反対しているから |
| 5. 相談相手がないから | 6. どうしていいかわからないから |
| 7. 自分にはまだ早いと思うから | 8. 縁起が悪い気がするから |
| 9. その他 () | 10. 特に理由はない |

全体集計では「自分にはまだ早いと思うから」が突出して多く 66.0%の人が挙げた。以下「どうしていいかわからないから」(17.5%)、「時間がないから」(16.5%)、「特に理由はない」(15.5%)がほぼ同率で続く。

年齢別では、年齢が高くなるほど「特に理由はない」「どうしていいかわからないから」が増加し「自分にはまだ早いと思うから」の比率が低くなる傾向が見られる。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=97、無回答除く)

■年齢別

	時間がないから	費用がないから	詐欺など高額請求や心配だから	家族が反対しているから	相談相手がないから	などかしていいかわからないから	自分にはまだ早いから	縁起が悪い気がするから	その他	特に理由はない
全体 (N=97)	16.5	6.2	3.1	-	8.2	17.5	66.0	2.1	4.1	15.5
30代以下 (N=19)	15.8	-	5.3	-	15.8	10.5	89.5	-	-	-
40代 (N=19)	15.8	5.3	-	-	5.3	15.8	84.2	5.3	-	5.3
50代 (N=22)	27.3	9.1	9.1	-	-	13.6	77.3	4.5	4.5	9.1
60代 (N=22)	13.6	9.1	-	-	13.6	22.7	50.0	-	4.5	27.3
70代以上 (N=15)	6.7	6.7	-	-	6.7	26.7	20.0	-	13.3	40.0

(複数選択可、無回答除く)

3) 終活に関する困りごと・不安

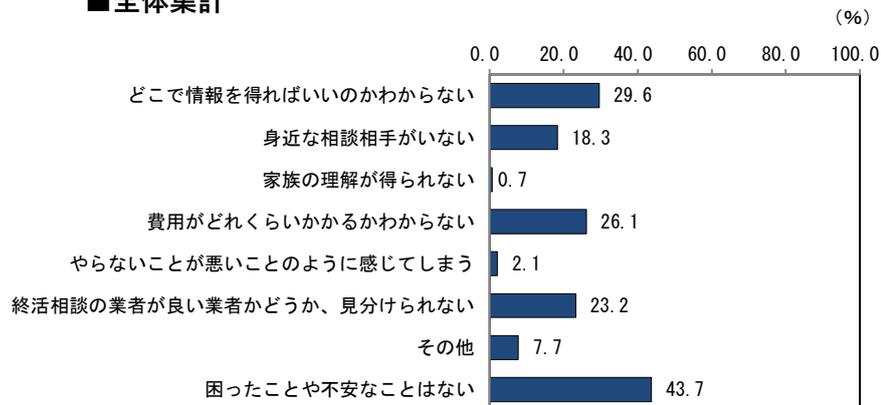
《みなさまにお聞きます》

問 14 (3) あなたは、終活について、困ったことや不安なことはありますか。(いくつかでも○をつけてください)

1. どこで情報を得ればいいのかわからない
2. 身近な相談相手がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 費用がどれくらいかかるかわからない
5. やらないことが悪いことのように感じてしまう
6. 終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない
7. その他 ()
8. 困ったことや不安なことはない

全体では「困ったことや不安なことはない」が最も多く 4 割超 (43.7%) の人が回答した。以下「どこで情報を得ればいいのかわからない」(29.6%)、「費用がどれくらいかかるかわからない」(26.1%)、「終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない」(23.2%) と続く。
属性別では有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=142、無回答除く)

4) 終活に関する意見・要望

問 14 (4) 終活についてのご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

(回答者数=18)

相談窓口等 (6件)

- ・誰でも気軽に相談できる場所があれば良いと思う (40代女性)
- ・いろいろな相談事は区役所で対処してくれるのでしょうか (70代以上男性)
- ・札幌市の方で相談窓口をつくってほしいです (50代女性)
- ・横須賀市など数は少ないが自治体で一人様対応の課があり、色々な不安や死後の事後処理を心配なく相談に乗ってくれる自治体があるが、札幌市も対応してほしい (60代女性)
- ・終活についてどこに行っても聞けばよいのかわかりませんので、区役所に行ってみようかなと思っていたところです。まだ元気なうちにやらなくてはと思っています。考えさせられるきっかけができて大変良かったです。ありがとうございました (70代以上女性)
- ・手伝ってくれる方が欲しい (労働力として) (70代以上女性)

終活に関する提案 (3件)

- ・高齢者向けに「終活の手引き」を配布し記入を促してはどうですか。敬老パス送付時に同封するなど (50代女性)
- ・今後ある一定の年齢より終活を義務化すべきと思う (30代女性)
- ・死んだらみんな同じ。死んだら何も無い。終活は残されたもののためにする部分が多いのではないかと思う。実践している割合が少ないのは誰も自分の死を考えたくないからではないでしょうか？ 親に終活をすすめるなど親不幸でしかないとは思っています。故人を想いながら感謝して遺品整理すればよいと思います (50代女性)

終活に関する不安 (3件)

- ・子どもが遠方で迷惑を掛けたくないのに、元気なうちにしたいと思っているが、どうしたらよいかわからない状況です (60代女性)
- ・子どもがいなくて老後施設に入居することになるのだろうが、その先に漠然とした不安はある。元気でいられないなら安楽死などの制度があっても良いと思う (50代女性)
- ・現在住んでいる住まいの適正な処分方法等思案中。つまり放置住宅へのリスク (60代男性)

その他 (6件)

- ・後に残る人に迷惑はかけたくないのに終活することは悪いことではない (40代女性)
- ・現時点ではまだその時期ではないと思っているので (30代女性)
- ・正直よく分かっていません (30代男性)
- ・ありのまま、成るがまま、特に何も考えておりません (60代女性)
- ・「終活」という言葉は自分の死の準備をしなければならぬ寂しさ、悲しさ、そして現代の現実

の厳しさを感じます (70 代以上女性)

- ・ 現在肺がんで自分が亡くなるかわからないので手が付けられない (60 代男性)